

平成 22 年度八代市主要事業について

当初予算の規模

一般会計	495 億	740 万円（前年度費 1.4%減、	707,000 千円減）
特別会計	365 億 1,111 万円（前年度比 1.7%減、	629,346 千円減）	
企業会計	16 億 2,390 万円（前年度比 6.6%減、	114,633 千円減）	
予算総額	876 億 4,241 万円（前年度比 1.6%減、	1,450,979 千円減）	

主 要 事 業 内 容

(1) 雇用・景気対策（地域経済活性化関連施策）

【雇用対策】

- ・就業資格取得支援
- ・緊急雇用対策

高齢者就業相談員など一時的な雇用を確保する「緊急雇用創出基金事業（95人）」、
また、畳表の加工など継続的な雇用を確保する「ふるさと雇用再生特別事業（22人）」

【観光振興計画策定】

本市の観光振興の課題に対応する施策を設定し、観光資源等を最大限に活かし、観光客の増加につなげ、本市全体の産業の活性化及び魅力輝く都市を目指す。

【八代ブランド戦略】

来年春の九州新幹線鹿児島ルートの特快開業を前に、本市すべての魅力と評価を高めることを目指し、本市の啓発CMを作成し、福岡等での放映等を実施し、八代の名を売り込む。

- ・CM作成
- ・福岡・熊本・鹿児島での放映

【ワンプレートランチ事業支援】

本市の食材を使用した名物料理を開発し、ワンプレートで料理の提供を行う。

- ・店舗紹介マップ
- ・加盟店ステッカー

【市内一円の市道、農林道、学校施設整備等の単独公共事業】

国の「コンクリートから人へ」の掛け声の下での大幅な公共事業削減の中、本市ではハコ物建設ではなく、生活に密着した道路等の維持・改良や教育施設等の整備について、平成21年度3月補正の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業」における関連事業費を含め、15%増と積極的に事業を実施する。

主 要 事 業 内 容
(2) 事業仕分け
【事業仕分け】 本市では、市民、学識経験者の外部委員からなる「市民事業仕分け委員会」を設置し、事業の見直しを議論する。 ・対象事業数 75事業 ・外部委員7名×5班編制×5回開催
(3) 総合計画前期基本計画の重点プロジェクト
重点プロジェクト1 活力ある産業プロジェクト 企業誘致や八代港の整備促進をすすめるとともに、本市の基幹産業の振興に努め、活力ある産業のまちづくりをすすめる。
【新築改築住宅等畳助成事業】 新築・増改築を行う市内住宅のうち、八代産畳表による和室に対して一部を助成。 【八代産農産物PR事業】 ・事業主体 JAやつしろ ・事業内容 関東圏の駅、ショッピングモール等において、トマト、い草、畳表等に関するイベントを開催し、八代産農産物を紹介する。 【八代産材利用促進事業】 八代産材を利用した住宅の新增改築に対して助成を行う。 ・1件あたり200千円 【山の幸地域づくり支援事業】 特用林産物（シイタケ等）を核とした、山村の地元力を発揮するための体制（組織化、人材育成）整備やプランづくりを支援する。 【農産漁村活性化プロジェクト】 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を受け、排水不良で営農に支障をきたしている3地区の排水路及び農道を整備する。 ・北原地区（H20～22） ・鼠蔵地区（H20～24） ・日奈久新地地区（H20～22） 【フォレストコミュニティ支援交付金事業】 ・林道開設 袈裟堂深水線 木々子日光線 【道整備交付金事業】 ・林道開設 観音線 ・林道改良 南川内線 ・林道舗装 岩奥南川内線 【漁村再生交付金事業】 二見漁港及び大鞘漁港の漁船基地機能の充実。

主 要 事 業 内 容
【港整備交付金事業】 植柳漁港泊地の浚渫を行い、安全な航行並びに安定した漁業機会の増加を図る。
重点プロジェクト２ 人が集まるまちプロジェクト 中心市街地や、新八代駅周辺の整備、日奈久地域の再生など交流拠点の整備をすすめるとともに、スポーツの拠点づくりなどに取り組み、交流人口の拡大を図り、人が集まるまちづくりをすすめる。
【チャレンジストア事業】 ・新規改装費用３店舗 ・既存改装費用３店舗 【日奈久温泉観光振興事業】 ・ツアー催行補助 ・雑誌掲載等広告料 ・案内人ガイド料 【まちづくり交付金事業】 ・日奈久地区旧ＪＡ倉庫活用事業 ・日奈久ＩＣ交差点周辺案内板設置事業 ・日奈久地区活性化事業 【中心市街地活性化事業】 ・コミュニティスペース事業 ・まちづくりセミナー事業 ・ひな祭り事業補助金 ・空き店舗内覧会 ・シネマタウン（やっちょろ街中映画祭） 等 【全日本柔道女子強化合宿】 全日本女子柔道の強化選手及び役員役８０名による強化合宿を誘致開催 【全国小学生ＡＢＣバトミントン大会】
重点プロジェクト３ 子どもが健やかに育つプロジェクト 子育て世代が安心して子育てできる環境づくりをすすめ、未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくりをすすめる。
【教育サポート事業】 学力向上を中心とした教育課題の解決のため、経験豊かで、実践的指導力のある退職校長を教育サポーターとして活用し、教職員の資質向上と実践的指導力の向上を図る。 【いきいき学校づくり推進事業】 【学校支援職員配置】 ・図書館指導員（２５人） ・特別支援教育支援員（３３人）

主 要 事 業 内 容
・看護婦（３人） ・生徒指導員（８人） ・幼稚園保育指導員（５人） 【理科支援員配置】 小学生の理科に対する学習意欲を高め、科学的思考力等を育てるために、支援員を派遣し、理科専科及び担任の授業準備・教材研究・授業の支援を行う。 【妊婦健康診断事業】 【乳幼児医療費助成事業】 ０歳から就学前の乳幼児の入院・通院にかかる医療費を全額助成する。 【子ども手当】 平成２２年４月から、中学生終了前までの児童生徒を養育している者へ手当てを支給。 【つどいの広場・ファミリーサポート事業】 「こどもプラザすくすく」、「ぽけっと」の２ヶ所で実施。
重点プロジェクト４ 良好な環境を未来へつなぐプロジェクト 市民・事業者・行政のパートナーシップのもと、生活環境の保全を図るとともに、循環型社会の形成に努め、人・自然にやさしく、地球にもやさしいまちづくりをすすめる。
【地球温暖化防止対策事業】 ・緑のカーテン効果実証試験 ・住宅用太陽光発電システム設置補助金 ・住宅用太陽熱温水器設置費補助金 【地下水イオン成分調査】 １０年に一度実施している地下水のイオン成分の調査を行う。 【生ごみ堆肥化容器等設置助成金】 ・生ごみ堆肥化容器 １００基 ・電気式生ごみ処理機 ５０基 【段ボール箱使用生ごみ堆肥化推進事業】 ・講習会用キット１５０個 ・生ごみ減量化パンフレット２，０００部
重点プロジェクト５ 安心安全なまちプロジェクト 市民の暮らし・生命・財産を守るため、国・県との連携を図り治山・治水事業などの災害の未然防止対策をすすめるとともに、地域の防災力や防犯力を高め、安全で安心なまちづくりをすすめる。
【防災行政無線整備統合事業】 ・坂本支所親局設備更新 ・本庁親局・各支所統合整備 【避難所備蓄倉庫等資機材配備】

主 要 事 業 内 容

- ・ 防災備蓄倉庫 4 箇所
- ・ 毛布（真空パック）480 枚 等

【安全安心まちづくり基金活用事業】

- ・ 防犯活動推進事業
防犯パトロール用品、防犯ボランティア団体モデル事業補助金
- ・ 交通安全運動経費
反射エコバッグ、交通安全教室教材ビデオ・DVD

【公共施設の耐震診断調査】

- ・ 保育所・斎場・公民館

【民間建築物耐震診断事業】

市内の民間木造住宅の耐震診断実施に対する補助。

【都市公園安全安心対策事業】

開園後、長期間を経過した都市公園の老朽化した施設を改築・更新する。また、八代市地域防災計画に一時避難地として指定されている公園には、備蓄倉庫を設置する。